

令和 3 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

新居浜市 西中学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等全学年・
各教科、道徳、総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ◎ 自分の大切さに気付くとともに、他の人の大切さを求めること
- ア 人間関係づくりと自己肯定感の育成
- イ 人権尊重の意識の高揚
- ウ 差別をなくす側に立つこと

実施した内容

- ア 美術と音楽について様々な形態のワークショップを取り入れ、情操面を育てながら活動や発表の場を設定することで、仲間と共に生活する大切さや仲間から認められる喜びを味わわせた。
- イ 3年生の総合的な学習の時間における人権学習の取組から学習したテーマ（スクールカーストによるいじめ）での人権劇を全校に発信し、人権意識の高揚を図った。
- ウ 県内一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP! デイ」に1年生がオンライン参加をした後、クラスミーティングを行い、差別やいじめなどの不合理に立ち向かい、差別やいじめをなくす側に立った意見交換を行った。また、その様子を人権だよりで発信した。

工夫した点

- ・ 県美術館学芸員やシエナウインドオーケストラのワークショップ等において質の高い芸術に触れることで、日ごろ体験できない場面設定ができ、より自他の肯定感を高めることができた。
- ・ 生徒が自ら考える人権問題意識に基づき、20年以上継続している人権劇を総合的な学習の時間の探究の過程に組み込むことで、人権意識の高揚につなげた。
- ・ 差別やいじめに対する子供たちの意見を人権だよりで家庭に発信し、家庭教育における深化を図った。

他教科との
関連

- ・ 道徳科での学習を要として、各教科等、体験活動等との関連的指導を工夫した。そして具体的な事例や関連は総合カリキュラムに明記した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

新居浜市 西中学校

人権課題

女性

対象学年・
取り扱った教科等

中学3年生・社会科公民的分野

目標・人権教育のねらい

- ・男女共同参画社会を実現するための方法について考え、共に生きる意識を育てる。
- ・性差に対する偏見や思い込みを取り除き、人権を尊重し、男女共同参画社会の実現のために、構造的にその問題点やその解決方法について多面的・多角的に考察し表現する。
- ・性差による差別解消のために、自分たちができることを話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりする。

実施した内容

- ・現存する国際的な人権課題を捉え、その解決の方向性について思考・判断・表現するために、ガーナNGOで活動している講師に、NGOの活動によって、村が経済的に自立する中で、女性の働く環境が改善されていった様子を講演していただいた。（1時間）
- ・講演や「日本国憲法と基本的人権」の学習を通して学んだことを各自がまとめ、自分たちができることを考え意見交換をした。（1時間）

工夫した点

- ・中学1年次に社会科地理的分野「アフリカ州～食糧問題～」の授業で講演いただいたガーナNGOで活躍している講師に再び講演していただくことで、フェアトレードのシステムが地域活性化につながったことが、更に村が経済的に自立することにつながり、そして児童労働問題や女性差別問題の解消につながるという関連性を理解させるために効果的であった。また、ねらいの一つである「目の前の事実の背景を考える重要性」を理解させるためにも効果的であった。

他教科との
関連

- ・中学3年生 社会科歴史的分野「20世紀に入って女性の政治参加を求めて」「大正デモクラシー」「民主化と日本国憲法」で女性の人権の獲得の歴史を学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

新居浜市 西中学校

人権課題

障害者

対象学年・
取り扱った教科等

中学3年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 障害者に対する偏見や思い込みを取り除き、障害者の人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・ 障害者の現状や課題を知り、理解を深める。
- ・ 障害者に対する思いやりの心を持ち、自分たちができることを行う意欲と態度を養う。

実施した内容

- ・ 各自でバリアフリーや補助犬などのテーマについて調べ、まとめて発表し、自分たちにできることを考えた。（5時間）
- ・ 社会福祉協議会の方から車椅子の使い方を教わり、車椅子バスケの体験を通して、障害者に対する理解を深めた。（3時間）
- ・ 一般団体の方から手話について学んだり、自分たちで点字を学習したりして、詩やおもちゃを作って社会福祉協議会へ寄付した。（3時間）

工夫した点

- ・ 調べ学習では、個々の興味関心を第一に調べ、全体に発表することで、想いを共有することができた。
- ・ 社会福祉協議会や一般団体、バスケット用の車椅子を貸してくださった選手の方々に感謝の気持ちを持って体験し、自分に何ができるかを主体的に考えさせた。

他教科との
関連

- ・ 道徳科で、障害者理解について学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

新居浜市 西中学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

全学年
道徳科 総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・差別の現実に深く学び、それを自らの痛みとして受け止め、差別解消に向かう人間としての立場を確立させる。
- ・同和問題学習から学んだ原則や手法を用いることで、様々な人権課題を解決するため意欲や態度を育てる。
- ・「部落差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を具現化するために、差別の現実に深く学び、部落差別をなくすため実践力を育てる。

実施した内容

- ・道徳科と総合的な学習の時間において、発達段階や各学年の現状に配慮しながら適切な資料を用いて授業を行った。主に学級担任による授業であるが、一部は学年集会の形で学年主任が授業を実施することもあった。（各学年9時間）

工夫した点

- ・1年生では「招かれなかったお誕生会」の資料を使うことで、今なお残る重大な問題であることを認識した。2年生では「全国水平社創立大会宣言」等の資料を使い、被差別の立場に立って考えることで、差別解消への意欲を高めた。3年生では「峠」等の資料を使い、差別解消の主体者となるための実践力を高めた。
- ・学習した内容を学級通信等に載せ、保護者啓発にも努めた。

他教科との
関連

- ・社会科歴史的分野にて、中世以降の人権獲得の歴史について学習した。
- ・社会科公民的分野で部落差別の問題を個人の尊重に着目して学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

新居浜市 西中学校

人権課題

外国人（難民問題）

対象学年・
取り扱った教科等

中学2年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・難民の現状を知ることを通して、命を尊び、自分も他の人も大切に思いやることのできる人権感覚を育てる。
- ・難民の現状について知り、難民を支援している機関や企業の取組について理解を深める。
- ・「命を守る」「人としての尊厳を守る」という視点で自分たちができることを考え、生徒たち自身が持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動する意欲や態度を養う。

実施した内容

- ・企業が実施している「届けよう、服のチカラプロジェクト」に参加し、出前授業を通じて難民の現状を知る。（1時間）
- ・「命を守る」「人としての尊厳を守る」という視点で服がもつ「チカラ」を見つめ直し、話し合ったり、感想をまとめたりして、このプロジェクトの意義を理解する。（1時間）
- ・生徒会活動に連動させ、実際に子ども服を回収して、難民に向け服を送る活動を行う。

工夫した点

- ・コロナ禍のため、映像授業となったが、活動の意義を事前にしっかりと考えさせた。
- ・授業を行う際は、生徒主体の活動とするための意欲付けとなることを重視した。
- ・地域や企業との協働により、持続可能な社会の実現に向け、自分に何ができるかを主体的に考えさせた。
- ・進路学習、環境学習とも関連付け教科横断的な視点で学習を進めた。

他教科との
関連

- ・社会科地理的分野「世界の諸地域」において、地域の特色について学習した。
- ・技術・家庭科においてリサイクルの意義等について学習したり、美術科でSDGsに関するポスター制作の際に人権に関する視点も取り入れるなど、総合カリキュラムに基づいた授業を実践した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

新居浜市 西中学校

人権課題

ハンセン病患者等

対象学年・
取り扱った教科等

全学年・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ハンセン病問題に対する正しい知識を身に付け、回復者及びその家族に対する偏見や差別意識を解消する。
- ・HIVや新型コロナウイルスなど、他の感染症に対する偏見や差別意識の解消にもつなげる。

実施した内容

- ・「人権啓発ビデオ 人権アーカイブシリーズ「家族で考えるハンセン病」の動画を視聴し、ハンセン病に関する基礎的な内容を学習した。（1時間）
- ・全校生徒と保護者を対象に、ハンセン病問題の解消に取り組まれている方を講師に人権・同和教育講演会を行った。（1時間）

工夫した点

- ・授業で使用したワークシートに「家族と話したこと」の欄を作り、家庭で話をする時間をつくれるようにした。
- ・本校卒業生で、中学校在学中に国立療養所大島青松園で現地学習を行った生徒を講演会に招き、全校生徒と保護者に向けて反差別の思いを語ってもらった。
- ・人権・同和教育便りを用いて、保護者へ講演会の参加を呼び掛けたり、講演会後は講演内容を保護者に伝えたりした。

他教科との
関連

- ・社会科公民的分野「人権の保障を確実にするために」で学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

新居浜市 西中学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

中学3年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・インターネットによる人権侵害の現状や課題を知り、理解を深める。
- ・インターネットを利用する際にも思いやりの心を持ち、良い使い方をしていこうとする意欲と態度を養う。

実施した内容

- ・インターネットの誹謗中傷事例を取り上げた映像を見て、感じたことを書き、意見を共有する。（2時間）
- ・インターネットによる人権侵害の事例や対策など、様々な視点から現状を調べ、自分たちにできることを考える。（2時間）
- ・学んだことをもとに人権劇を制作し、全校や地域への啓発に努める。（7時間）

工夫した点

- ・インターネットを利用している人も利用していない人も全員が自分の問題として考えられるように「無関心」をキーワードとし、誰もが共感しやすいシナリオを作成するように意識した。
- ・調べ学習の際には、インターネットの情報が全て正しいわけではないということをしっかりとおさえた上で活動に取り組んだ。
- ・人権劇、人権集会では学年を超えて多くの人が意見交換をできるよう時間を作った。

他教科との
関連

- ・道徳科や技術・家庭科、社会科公民的分野「情報化と人権」で、インターネット上でのトラブルや使い方を学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

新居浜市 西中学校

人権課題

その他（コロナ差別）

対象学年・
取り扱った教科等

中学3年生・総合的な学習の時間
美術部・部活動

目標・人権教育のねらい

- ・世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスに対して、科学的な根拠を元に「正しく知り、正しく恐れる」ことにより、うわさや偏見に惑わされず正しい言動をとることができるようにする。
- ・他者を攻撃するような人権侵害や誹謗中傷をしない、させないことを中心に据え、自分ができることを考え実践させる。

実施した内容

- ・シトラスリボンプロジェクトの趣旨に賛同し、実際にシトラスリボンの作成を行った。（2時間）
- ・エッセンシャルワーカーの方へ感謝の気持ちを伝えるため、イラストを添えたメッセージカードをパネルにし、近隣の総合病院と診療所に寄贈した。

工夫した点

- ・日々報道される情報を人権の視点から捉え、自他の命や生活を大切にするとはどういうことかを考えさせ、その思いを共有した。
- ・シトラスリボンプロジェクトは、愛媛県から発信した取組であることを伝え、共生社会の実現に向けて私たちに何ができるかを考えさせた。
- ・コロナ差別解消につながるサイトを人権便りに載せ、保護者への啓発を行った。

他教科との
関連

- ・保健体育科「健康な生活と病気の予防」で、感染症や健康を守るための社会の取組について学習した。